

政府は財政健全化のため、2015年までに財政赤字幅を8兆円ほど縮小させること、そして20年までにプライマリーバランス（基礎的財政収支）で見た財政収支を黒字に持つべく目標を立てている。

前者の実現には、3つの大きなポイントがある。1つはこの秋に安倍総理が判断するといわれる消費税率の引き上げである。2つ目は、デフレ脱却や景気回復でどれだけ税収が増えるのかという点だ。そして3つ目は、歳出の増加をどこまで抑えられるのかということだ。

当面は8兆円の赤字圧縮が可能かどうか注目が集



伊藤元重の

## ニュースな見方

まらだろう。ただ、20年に社会保障費が増加していくが現実的だろう。プライマリーバランスの黒からだ。

字化ができるかどうか、そのために何をしなくてはならないかが、次の重要な論点となる。

内閣府の試算によれば、実質2%、名目3%という経済再生シナリオに乗った高い成長を實現したとして

も、20年のプライマリーバランスはGDP（国内総生産）比で2%程度の赤字となる。高い成長を實現すればそれなりに税収は増えていくはずだが、それ以上に

が現実的だろう。社会保障費の伸びをどこまで抑えられるのかということが、20年までの黒字化の鍵を握っている。

社会保障費の増加を厳しく抑制するか、あるいは両方を毎年1兆円ずつ増やしていく

同時にすることが必要となる。歳入増、あるいは歳出削減のどちらかだけでも黒字化を實現するのは相当厳しい。増税と歳出抑制の両方を行うこと

社会保障制度は、すべては好ましくない。とすれば一刻も早く、そしてひとつひとつ着実に改革に着手していくしかない。

大きな影響を受ける人が大量に出てくる。制度を變更に、今の政権でどこまで社

# 社会保障制度を守る改革

## 財政健全化の鍵と目的

\*この記事は日本経済新聞社の許諾を得て転載しています。

社会保障制度は、すべては好ましくない。とすれば一刻も早く、そしてひとつひとつ着実に改革に着手していくしかない。

改革が遅れば、社会保障制度そのものを壊すような深刻な財政危機となってしまう。社会保障改革とは、社会保障制度を守るための改革でもあるのだ。

（東大大学院 経済学研究科教授）